

久喜市水道ビジョンについて

1. 水道ビジョンとは

「水道ビジョン」とは、厚生労働省により平成16年に策定されたもので、日本の水道の現状と将来見通しを分析・評価し、水道のあるべき将来像について、全ての水道関係者が共通目標を持って、その実現のための具体的な施策や工程が包括的に示されたものです。

この「水道ビジョン」では、市町村の水道事業者自らの水道ビジョン作成が推奨されました。

その後、平成25年に人口減少社会の到来や東日本大震災の経験など、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、その「水道ビジョン」が全面的に見直され、50年、100年後の将来を見据えた水道の理想像が明示されるとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担が提示された「新水道ビジョン」が策定されました。

「新水道ビジョン」では、水道事業者が自らの水道ビジョンを作成し、その内容の実現に向けた取り組みを積極的に推進することが必要とされています。

2. 久喜市水道ビジョンについて

- 1) 策定年月 平成23年7月
- 2) 計画期間 平成24年度から令和3年度までの10年間
- 3) 基本理念 「安定」「安全・安心」「持続」
- 4) 主な成果
 - 施設（浄水場）の耐震化
 - 地下水の縮小
 - 管路管理システムの活用

3. 新久喜市水道ビジョン（仮称）について

- 1) 策定予定 令和3年度末
- 2) 計画期間 令和4年度から令和13年度までの10年間
- 3) 基本理念 「安全」「強靱」「持続」
- 4) 主な取組
 - 補強連絡管の整備
 - 基幹管路の耐震化など
- 5) 策定スケジュール

令和元年度		令和2年度			令和3年度		
●	発注	資料収集・分析・協議			●	概要版作成	
				●	修正	● 審議	
						● 諮問	● 答申
						● パブリックコメント	● 公表